

令和元年10月第14回松阪市教育委員会定例会会議録

令和元年10月29日（火）教育委員会室

報告事項

1. 令和元年度9月児童生徒の問題行動等について
2. 平成30年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について
3. 松阪市における全国学力・学習状況調査の結果分析について
4. 第2回みえ松阪マラソン実行委員会について
5. 令和2年度松阪市立幼稚園園児募集の結果について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	竹 内	一
委員	長 島	彩 子
委員	岡 田	光 生
委員	長 井	雅 彦

出席事務局職員

局長	青 木	俊 夫
次長	伊 藤	卓 哉
教育総務担当参事兼教育総務課長	中 西	雅 之
公民館マネジメント担当参事兼 生涯学習課長	藤 武	利 文
飯南飯高コミュニティ・スクール 担当参事兼西部教育事務所長	中 林	穰 太
学校教育課長	塩 野	光 弘
学校支援課長兼 子ども支援研究センター所長	尾 崎	充
子ども安全・安心担当監	小 泉	恵 希
松阪公民館担当監	永 田	明 美
スポーツ課長	松 林	正 人
中部台管理事務所長	伊 藤	明
国体推進室長	前 出	和 也
国体推進室担当監	熊 野	佳 幸
給食管理課長	上 山	孝 一
北部教育事務所長	本 田	不三彦
健康福祉部こども局こども未来課長	谷 中	靖 彦
産業文化部文化課文化財担当監	松 葉	和 也

午後1時30分開会

○教育長

ただ今から令和元年10月第14回松阪市教育委員会定例会を開催いたします。

なお、傍聴の申し出がございましたので、私の方で許可をいたしました。ご報告を申し上げます。

それでは、事項書に従いまして、進めさせていただきます。

本日は、議案としての案件がございませんので、報告事項から入らせていただきます。報告事項につきまして事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対してご質問等はございませんか。

◆委員

先程、生徒指導上の諸問題の調査結果について報告がありましたが、いじめとか虐待、不登校が全国的な問題になっていると思います。その中で平成30年度の松阪の状況を報告していただきましたけど、いじめにつきましては、認知件数ということで増えているのだと思いますけど、長期に渡って尾を引くということはないということで安心をしております。ただ、いつ何時起こるかわからないという状況もありますし、アンテナを高くすることと、各学校には危機管理マニュアルの再度徹底をお願いしたいと思います。それから不登校についてですが、特に中学校が多いと思いますが、その中で家庭の問題、友達関係の問題、それからコミュニケーションが取りにくい生徒や児童が増えているという状況の中で、不登校の先にあるのは進路の問題であると思いますので教育機会の確保をお願いしたいのと、教育相談体制をしっかりとやっていただいて、ひとりでも減らせる取り組みをお願いしたいと思います。また、学校以外の場でもいろいろな支援活動もできると思いますので関係機関とも連携しながら取り組みをお願いしたいと思います。

◎事務局

いじめにつきましては、各小中学校では、より積極的に認知に努めております。平成30年度につきましては、全ての学校で認知を行っています。先日報道機関からも全国の認知件数等について報道がありました。全国で1,000人当たり40.9件というような数字が出ておりました。本市においては、31.4件ということで、全国より少し数値は低いのですが、三重県については、県平均が16.5件となっておりますので、全国より少ないけれども本市においては積極的に認知に努めているという数値になっております。先程も説明させていただきましたが、各校では、積極的に認知をした上で解消を図るということを丁寧に取組んでおり、平成30年度に把握した件数については、全て解消ができておりますので、今後も丁寧な対応を進めてまいりたいと思っております。また、不登校につきましても、平成29年度に西中学校区をモデル校として不登校対策委員会を持ち、その成果をもって平成30年度に全ての中学校区で不登校対策委員会を設置して取組みを進めてまいりました。特に不登校のコーディネーターを位置付けることで、初期の対応であったり、未然防止であったりというような取組みも進めておりますし、個別の支援シートを作成して、これを小学校、中学校それぞれの校区の対策委員会で活用したり、中学校区で共通して理解を図ったりする取組みを実施しております。また、中学校区にハートケア相談員を派遣しておりますので、小中学校に渡ってよく知った相談員がいる環境やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの相談機能、あるいは、各校Q-U調査

(学級満足度尺度調査)を実施しておりますので、子どもたちのクラスにおける安心感がどのくらいなのかというのを浮き彫りにしながら、丁寧な対応に取り組んでおります。最後に、いじめや不登校に悩んだ子どもたちが相談できるチャンネルを幅広く持つために、教育委員会、子ども支援研究センター、市のさまざまな施設等にも広げながら子どもたちのケアを進めているところでございます。今後も継続して取り組みを進めていきたいと思っております。

◆委員

学力・学習状況調査結果のP D C Aサイクルという、ビジネスの世界でよく聞く言葉で学校の現場でこのようなことをされていることに少し驚いているのですが、すごく評価がよいのですが、どのようなプランニングをされどのようなチェックをされているのか具体的に教えていただきたいと思っております。

◎事務局

P D C Aサイクルにつきましては、未来を切り開く力の育成シートということで分析のシートを作成しております。そこに教科に関する調査からの把握の部分、あるいは質問調査紙からの実態把握を踏まえて学校毎に課題、強みという部分を焦点化して各校で取り組んでいくという形を取っております。

○教育長

このP D C Aサイクルですけれども、改善サイクルを回していくということは、学校改革の大きな流れの一つになっています。4月に学校長が自らの学校の教育方針を決めます。それを先生方と個人面談をしながら周知徹底を図る。また、教育長との面談事項の中で学力をどう高めるのか、学校経営をどのようにしていくのかなどについて学校経営方針を立てる。その学校経営方針の中で学力の分析、具体的にどのようなプランを作るのか、どのように実行していくのか、チェック項目は学力学習状況調査と出来る限り、活動指標ではなくて成果指標を大切にしながら次につなげていくようにしています。シートは、松阪市独自のもので評価がわかりやすいものを作っております。

◆委員

学力・学習状況調査結果についてですが、「家で自分で計画を立てて勉強している」という質問で小学生は高いのになぜ中学生は低いのかなと思っております。また、「1日30分以上、読書をしている」という質問についても中学生が低くなっているのですが、この結果を得て、今後子どもたちにどのように指導して伸ばしていこうと考えてみえるのか教えていただければと思っております。

◎事務局

家庭との連携ということで、本居宣長の5つのチャレンジも改訂を加えております。読書という部分でみんなでしましょねという形から1日何時間読書をしましたかというように時計表示や本の紹介を入れたりするなど中身を変えております。子どもたちの育みたい力という部分で、家庭との連携というあたりでは、宣長さんのシートを地区懇談会や保護者と話しをするような機会の場で活用いただく、あるいは県の方からのアンケートを家庭に配布して把握した資料の活用をさせていただいております。

◆委員

昨年、学校訪問に同行させていただいた時にどこかの小学校である仕掛けをされて読書時間の改善を図られた学校がありましたので、内容を把握していただいて横展開していただくと良いのかなと思うのと、読書の癖を付けるというのは小学校の頃から癖を付けていかないと突然中学校からというのは中々難しいのかなと思っております。方法はいろいろあると

思いますのでよろしくお願いいたします。

◎事務局

先程、ご紹介しましたリーフレットであったり、天白小学校では公開の形をしておりますので、推薦読書のような形でご紹介もさせていただいております。リーフレットでも素敵な本との出会いをということで小中学校にも配っているところもございますので、本を読む意義というあたりについては、今後も引き続き家庭にもご協力を依頼しながら子どもたちに付けていきたい力ということで取組んでいきたいと思っております。

◆委員

学校と児童生徒との間に意識の差があるということで、数パーセントならいいのですが、20パーセントを超えるというところから課題があるのではないかと思いますので、折角PDCAサイクルでその確立をしっかりといただいているので、チェック、アクションというところでしっかり分析してもらって次へつなげていただきたいと思っております。

◎事務局

学校の取組みが定着してきているところもあるのですが、ご指摘いただきましたように差があるということにつきまして、今後各校において授業のあり方について協議しながら子どもたちの主体性や対応力を育てて、教科の特性に応じた見方、考え方を働かせた深い学びが実現できるような授業改善というあたりに活かしていきたいと考えております。

○教育長

PDCAサイクルの数値が三重県は高いというのは、以前に全国に先駆けて学校経営品質を取り入れた経緯があって定着していったと思っております。

○教育長

他にご質問等はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

ご質問等は、ないようでございますので、報告事項1から5は、承認したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしということでございますので、報告事項1から5は、承認いたしました。

報告事項が終了いたしましたので、その他の項に入ります。委員の方々からその他の項で何かございませんか。

◆委員

先日東海の会議に出席した時に、先生方の働き方改革ということが話題になりまして、一つは部活の問題、それと色々な問題に対してのスクールロイヤーの導入についての話が出ました。もう一つは学校に対する色々なクレームや意見があった時に先生方が遅くまで居なければならない、そんな状況の中で留守電機能や録音機能というようなものを取り入れてはどうかということが話題になりました。松阪の小中学校では、まだまだそこまでいっていないという状況がありますので、今後学校の意見も聞いていただいて考えていただければと思います。

◎事務局

部活動の問題について、今少し取組みを進めているところです。関係者の方にお集まりいただき、国から出ました通知で、長期休業期間中に一定期間の休養期間を設けるようにということで、生徒たちにとっては、部活に限らず様々な体験活動ができるようにという

ような趣旨で通知が出されております。これを実現できるよう学校を閉じる日を現状より少し拡大していくということで検討をさせてもらっているところです。その他の取組みにつきましても、予算の許す範囲の中で出来るところから取組んでいきたいと考えております。

○教育長

他に何かございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

ないようでございますので、事務局から「その他の項」で何かありませんか。

(事務局から「なし」の声)

○教育長

ないようでございますので、事務局から次回の定例会の日程報告をお願いいたします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、11月27日水曜日、午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

○教育長

それでは、これで令和元年10月第14回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後2時35分閉会